# 文芸ひろば　短歌

**千代田短歌会**

透きとおるあめ路の涯ての筑波嶺のかたえに集う幾千の星　岡田恭子（牛　渡）

相つぎて仔猫逝きたるこの夏は星になれよと祈る七夕　宮本和子（中佐谷）

雨あがり一日を閉ざしつつ刷く雲の奥処に木星またたき始む　的場登志子（上土田）

稲作に想う農家の実りの秋心にかかる放射の災　橋本とし（粟　田）

**出島短歌会**

今日も又孫に甘いと息子に云われその苛立ちを夫吾に向ける　名倉靚子（下大堤）

咲きし花散りて彩る庭中の操り返さるるをいとほしみ見る　飯島ヒロエ（三ツ木）

**投稿**

里芋の葉のつぶら朝露陽をうけて美しき玉なるこれぞ珠なり　渡辺静江（稲吉東）

与勇輝の人形の如背を丸め後継ぎのない畑の草引く　菅谷咏子（柏　崎）

☆文化協会加盟団体紹介☆

## 千代田囲碁会

### 囲碁を楽しみましょう

千代田囲碁会では、下記のような大会や練習日を設け、囲碁に生きがいを感じる愛好者が集まり、楽しく活動しています。

初心者の方も囲碁が好きな方も一緒に楽しみませんか。お待ちしています。

活動場所▶働く女性の家

定例大会▶毎月第４日曜日 9:00 ～ 17:00

練習日▶毎週火・土曜日 13:00 ～ 18:00

その他▶石岡市囲碁同好会と親睦大会（10 月）

　　かすみがうら祭で囲碁大会（11 月３日）

問小林佑光☎ 029-830-1266

←日本の伝統文化として発展してきた囲碁は、想像力や集中力を養う効果があり、「頭脳スポーツ」として70カ国を超える地域に広がりを見せています。

― 広報誌持参の方は、郷土資料館入館無料！ ―

市民学芸員 雑記帳

市民学芸員▼市の歴史・文化などを学ぶ市民学芸員養成講座を修了し、認定された方たち。現在31人。今後の活躍が期待されています。

## 石仏から学ぶこと

桂木郁夫さん（宍倉）

市内には、現在も石仏や石塔が安置されています。それらは、「世は、八百万の神々」というように、全国的にも所在しています。多くの人々が、病気や貧困、災いなどに悩み苦しみ、それらを純真な気持ちで神仏に救い求めたことを今に伝えているのです。

現代は、神仏に救いを求めても解決できないと考えてしまい、信仰心は薄いでいます。石仏の多くは、「講中」「村中」「女人中」など信仰心から同士で立てられました。この信仰心は、同士で共感することで、悩み苦しみを和らげ、上手に減少させ、神仏からは安心感をいただく構図となっていったのです。現代はすべてが便利で、早くといったファーストライフで、それ故に悩み苦しみといったストレスが溜まりやすい反面、先人の信仰心によるストレス緩和がなくなった現代人の心の苦悶葛藤は厳しい現況です。ストレス社会の問題解決には、自らが体を鍛え、多くの人々と交流し、見聞や知識を広めて種々の体験をし、時には恥をかいたり叱られたりして、心身共に抗体を高め培う必要があります。また、石仏を立てた先人に学びストレスを心に溜め込まず、打ち明けて共感してくれる人と人とのつながりや支援なども必要だと思います。

市内各地に残る先人たちの足跡を調査、学習すると現代社会の課題へのヒントがあるように感じます。こうした情報も市民学芸員として、市民の方に伝えていきたいと思います。

桂木郁夫

# 少年のつばさ

## 言語の壁を乗り越え、オーストラリアで心通じ合えた７日間

市内４中学校の２年生30人がオーストラリアの学校との交流やホームステイを体験する「少年のつばさ」に参加しました。生徒にとって、英語研修と同時に異文化に触れ、自国を見直す貴重な経験となりました。

★☆団長と代表団員報告☆★

**久松隆団長（下稲吉中学校長）**

今年度の海外研修事業「少年のつばさ」は、例年通りになり、生徒30人と引率４人で実施しました▼予想はしていたものの日本出発とオーストラリアシドニー到着の気温差が25度と大きかったのには、身体がなかなかついていけませんでした▼不安と期待の４泊のホームステイでしたが、生徒はみんな積極的に家庭に溶け込み、すばらしい交流を果たしました▼キラウィーハイスクールでは、学校紹介をしたりブッシュウォークを一緒に体験したり交流を深めることができました▼この海外研修事業に対して市当局、教育委員会の皆さま、そして、保護者の皆さま方のあたたかいご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。

**神山恵実里さん（南中２年）**

私は、今回の国際交流で、相手の立場を思いやり知ろうとする気持ちが大切だと実感しました▼ホストファミリーの方が、大震災被災地へメッセージをくださったからです▼このような体験を生かし、さらに海外の多くの人たちと心と心で交流していきたいと思います。

**前川七海さん（北中２年）**

オーストラリアでの一週間は、本当に充実したものでした▼生の英語、異国の文化や豊かな自然、そしてたくさんの温かい方々に触れることができました▼私は、このような機会を与えてくださった方々に感謝するとともに、今回の経験を無駄にすることのないように、これからの学習にもっと積極的に励んでいきたいと思います。

**長谷川弘樹さん（千代田中２年）**

家族の一員のように受け入れてもらったホームステイ▼同年代の生徒たちと交流できたキラウィーハイスクール訪問▼「少年のつばさ」に参加できるのは一生に一度だけです▼この夏、国際交流の第一歩を踏み出せたことで、私は「13歳の今しかできないことをする」という自分の今年の目標を達成できたと思います。

**久松稜さん（下稲吉中２年）**

オーストラリアの空気、景色、人々は日本と何もかも違い、とても新鮮でした▼僕はこの研修で、自分の英語の力を伸ばすという目標を立てていました▼自分の知っている範囲の英語を活用して話し、現地の人に伝わったときは、うれしかったです▼たくさんの人と交流ができ、数え切れない思い出がたくさんできました。機会があれば、また訪れたいです。